令和3年度第2回堺市東区政策会議テーマ別会議「ひがし歴活」 議事要旨

開催日時 令和3年12月22日(水) 午後1時30分～午後3時00分
開催場所 東区役所 4階 大会議室
出席構成員 池崎守、川上浩、北井道子、坂井茂子、高落俊次、森田法子、米田眞利
事務局職員 東区役所企画総務課 友兼、高嶋、酒井
議題 東区の歴史・文化の発掘・発信～次世代への継承
配付資料 ・堺市東区政策会議テーマ別会議「ひがし歴活」取組の方向性について
・前回会議の議事要旨

【会議内容概要】

- 1 事務局より、前回会議の振返り及び資料に基づき、今後の取組みの方向性の事務局提案について説明。
 - ・地域の歴史資源(事象、石碑、街道など)を発掘する視点と資料集作成や東区版検定等の発信事業の2つの視点で進める。
 - ・歴史は、高齢者から子供たちまで語り継げられる近代(約100年前)を扱う。

2 意見交換

【各発言要旨】

- 提案の(発掘する視点からは)全小学校で共有できるような話が今はまだ見えてこないし、前回の会議でもあったが皆さんが何に興味を示すのかも調査していない。

11月の東区の自治連合会の定例会で来年度の区民まつりの話のなかで、クイズ専用ブースを設けるという案があった。全校区それぞれに1,2問だすようなので、各校区の理解を取り付けて、自慢とかこれを言いたい(知ってほしい)という候補を5問ほど出していただき、この会議でどれに注目し、将来、2,3年後をめざしてどこへ向かっていくのかを議論すればよいのではないかと考える。
- 各校区5問ほど提案してもらえれば、その中で共通する視点があると思うので、それを取り上げるのはどうか。(本会議の作業としては)5月に予定されている区民まつりを直近の目標にしてはどうか。
- (散策マップは完成されたものだが、)自分のところの校区地図はあるが、東区全体のマップがあればよその校区のことを知ることができる。
- 資料にある、事務局提案を進めていけばよいと思う。石器時代からの歴史があるが、これらには文献等資料があるので、事務局提案の「高齢者から子供まで語り継げる近代の歴史」は地域の語り部もいらっしやるだろうからよいと思う。
- 近代の歴史を対象とすることは、我々が暮らしてきた生活に根差したテーマになるので、具体的な取り組みはこれからの議論にはなるが小学生を交えて進めていくというのはいいと思う。

- 事務局提案の発信の項だが、自分が所属する校区では、小学校のある学年全員と一緒に校区の地図を作った経験があるが、労力も少なくなかったので具体的にどの程度の地図をいつ頃に作り上げるかという議論を進めていくこととなると思う。
- 資料にある、発掘の項の各校区に語り部を配置するということだが、前回の会議で堺区で実施したことを紹介したが、以前、旅行先で子どもたちから町の案内をしてもらったことがあり、これを参考にある小学校の3年生の授業で取り組んでもらった経験があり、自分の住んでいるまちの誇りに変わっていった。
また、別の小学校では、自分たちのまちの良いところを手書きで地図を作ってDVDにした。こんなことを進めるのもよいのではないか。
- 語り部というのも小学生にしてもらい、それも高学年ではなく、例えば3年生が良いと思う。
- 語り部については、最初に自分たち（子どもたち）が住んでる地域のことについていっぱい質問を作ってもらい、それらの答えは対象場所（者）に取材して進めていった。子供たちの語り部をマスコミに取り上げてもらうと、子どもたちの誇りが芽生えた。
- これら紹介したことは2、3年先のゴールなので、この会議ではまず実績を積み上げる意味で、先ほどのクイズをまず進めるという提案をした。
5問つくってもらい意味は、採用不採用ではなく、校区の人たちが何に注目しているかが把握できるからである。
- クイズを作るには、意外と周りを知らないのでもまず自分の地域を知る（興味を持つ）ところから始まるのだと思った。今まで自分の地域、住民と関わっていなかったことに気づいた。
- 小学生に関わってもらおうとすると、授業との関係があるので学校側の意見や、安全（交通）の確保などは必要だ。
- 次の会議で提案されたクイズの問題について議論を進めていけば、順々に会議が進んでいくと思う。
- 我々も東区全体を知るために、それぞれのところで解説してもらいながら回る（訪ねる）ことを計画してもらってはどうか。
- 9つの学校が協力してもらえるかは課題にならないか。
- 2年生に授業で昔話の協力をしている。折り紙などを教えると喜んでくれたので、地域との連携は可能ではないか。
- 自分のところの校区では、小学校から4年生を対象に防災授業の依頼があった。この時は、事前に質問をまとめてもらったが、授業後の反響が大きかった。（興味を持ってもらえた。）
- 各学校で地域との連携の授業が実施されているようなので、学年をどうするかとか、一緒に地域を回るというのは課題があるが協力してもらえないのではないか。

- そうすることで、各校区で学校とも連携するきっかけも期待できるし、各校区の歴史を紐解いてもらえると思うので、持ち寄ってもらうことで東区全体を取り上げることができると思う。
- 各校区が提出した全問題をこの会議で選択するのではなく、集まったクイズからみんながどこに興味を持たれているのか（傾向も含めて）、知りたいからということを知りたいだけでいい。
- 校区内を歩くのは、地元に住んでいても知らなかったという住民も多いと思う。
- この会議でテーマが決まれば、そのテーマに沿って校区を歩いてみるのはどうか。歩いてみた結果を各校区持ち寄ってはいかがか。
- 他の校区は知らないから、歩くにしても対象区域はそれぞれが推薦（自慢）している場所としても、誰がどのように歩くかというのを議論しないといけない。区域間の移動手段（多数ならばバス移動など）をどうするかということもある。
- 例えば、今は住宅が広がっているがバス停の名前が「北野田送信所前」というのがある。このような視点もクイズ問題に適していると思う。
- 昔の写真（昭和初期、戦前や昭和30年代など）なども資料になる。
（自分の幼少のころの記憶からは町の姿が代わった、北野田から三国ヶ丘周辺まで見渡せた、白鷺団地の造成前の姿、などそれぞれに紹介。）

4 閉会